

事業 総括評価シート

1. 業務概要

施設名	小黒恵子童謡記念館
貸付期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日 (普通財産貸付による運営 開館日 平成29年4月1日)
業務の概要 (コンセプト)	1 童謡文化体験の場 2 地域の憩い、交流の場
貸付事業者	名称 : 特定非営利活動法人アクト川崎 代表者: 理事長 竹井斎 住所 : 川崎市中原区井田杉山町24-8 電話: 044-813-1313
所管課	市民文化局市民文化振興室

2. 「評価の視点」に基づく事業期間全体の評価

	評価項目	事業実施状況等
1	市民や利用者に十分な量及び質のサービスを提供できたか。	<p>記念館は、詩人・童謡作家であり、童謡文化の普及啓発に取り組んだ小黒恵子氏の遺言を受け、氏が個人で運営してきた記念館の土地や建物、展示資料等の財産を市が受贈し、普通財産の貸付の事業スキームにより、「童謡文化体験の場」と「地域の憩い、交流の場」とすることをコンセプトとし、民間活力を活用して運営する文化施設である。</p> <p>今期（平成29年度からの5年間）については、市が仕様を定めず、事業者の提案に基づく運営を行うものとして公募を行い、事業者となった特定非営利活動法人アクト川崎は、童謡の普及に向けた企画と合わせ、市民が同館を利用したくなるよう工夫しながら、柔軟な発想により運営に取り組んでいる。</p> <p>開館当初は認知度が低く利用者数が少なかったが、童謡を活用した音楽イベントの実施など、気軽に童謡文化を体験できる機会を積極的に提供するとともに、貸館の利用拡大を図ることで、リピーターの確保や施設の認知度向上につなげ、利用者は毎年増加している。初年度（平成29年度）約4,500人だったが、3年目（令和元年度）は約8,500人に増加した（令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた休館等もあり減少）。</p> <p>【具体的な取組】</p> <p>童謡文化の普及啓発においては、童謡を活用した音楽イベント、クリスマスコンサート等の時宜を捉えたイベント等を開催し、館主催のイベントの参加費は無料（入場料のみ必要）としたことで、リピーターの確保や認知度向上につながった。</p> <p>また、「0歳から参加できる」をコンセプトとし、障害者と健常者が一緒に参加・演奏できるバリアフリーコンサートも実施した。年間パスポート（発行実績累計296枚）の発行することで、リピーターの確保に努めた。地域の憩い、交流の場としては、音楽関連団体や地域活動団体への貸館業務をはじめ、高津区役所や地域活動団体と連携し、子育て世代向けの講話・音楽イベントの開催など様々な取組を行った。</p> <p>なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設の利用制限やイベント開催制限を行ったため、イベントの一部開催中止に伴い、小黒恵子氏の詩の朗読や一部実施できた音楽イベントをホームページで配信するなどの取組を実施している。また、幅広い層の方に来館いただくため、ピアノ開放デーの実施や、展示室の一部を「貸ミニギャラリー」として展示を公募することで、市民の芸術の発表の場としても活用し、</p>

	評価項目	事業実施状況等
		来館促進につながっていると評価できる。
2	当初の事業目的を達成することができたか。	<p>1 2つのコンセプト「童謡文化体験の場」、「地域の憩い、交流の場」について</p> <p><u>(1)「童謡文化体験の場」としての機能</u></p> <p>事業者の柔軟な発想により、小黒恵子氏の功績を伝えるための常設展示、童謡を活用した音楽イベントの開催や童謡の歌唱を体験できる場を提供することで、童謡文化の普及啓発を十分に行っている。</p> <p><u>(2)「地域の憩い、交流の場」としての機能</u></p> <p>事業者の柔軟な発想により、施設利用の促進を図っている。</p> <p>具体的には、「貸ホール」は開館日時以外に利用でき、市民の楽器や合唱の練習の場として、「貸室」は発表会場として常時利用でき、90 団体が登録し、会議やピアノ練習等、様々な目的で利用されている。また、高津区役所と連携した子育てや健康をテーマにしたイベント、地域団体と近隣小学校向けに夏休み冬休みに講座を開催するなど、行政や地域団体との連携による事業を実施することで、地域の憩い、交流の場として機能している。</p> <p>2 運営条件</p> <p>(1) 童謡記念館としての運営</p> <p>小黒恵子氏の功績を伝えるために常設展示を行うとともに、幅広い世代が参加できる童謡を活用した音楽イベントを実施することで、童謡全般の普及を図った。</p> <p>(2) 市民利用施設としての運営</p> <p>貸ホールは展示室開館日時以外、貸室は月～日曜日の貸出を行っている。地域住民の活動の場として、貸館利用者数は毎年増加傾向にあり、特に音楽関連の活動団体の需要が高い。楽器や合唱の練習、発表会場としての利用が目立ち、地域住民の文化芸術活動に資する場となっている。</p> <p>展示室開館日については、提案に基づき開館当初は、<u>土</u>、日、月、祝日としたが、音楽関連の発表の場としてホールを使用するため土日どちらかを貸館日にしてほしいという利用者のニーズに合わせ、令和2年度から試行的に、日、月、<u>木</u>、祝日に変更し、土曜日を貸館日とした（令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、試行実施の検証には至っていない。）。</p> <p>(3) 地域及び市との連携</p> <p>高津区役所と連携し、「記念館で健康になろうシリーズ」として保健師や管理栄養士を招いて子育て、認知症、熱中症や栄養に関する講話を実施した。また、川崎市地球温暖化防止活動推進センターやCCたかつと連携し、環境をテーマにクールシェアイベント、ウォームシェアイベント、東高津小学校の生徒を対象に夏休み・冬休み期間に自由研究講座を実施した。令和2年度からは楽天グループ株式会社、一般社団法人カノンパートナーズの民間企業とも連携し、演奏に合わせてストレッチ等を行う企画を実施した。</p>

	評価項目	事業実施状況等																							
		<p>(4) 施設の維持管理</p> <p>施設の保守点検及び清掃、軽易な樹木の剪定、地域住民のボランティアによる落ち葉の定期的な清掃、ピアノの調律等を定期的に行うことで、貸付施設全体について良好な状態を保つよう、適切な維持管理を行った。</p> <p>(5) 展示物資料の取扱</p> <p>小黒恵子氏が遺した作品や資料等については、これまで未整理状態だったが、将来に向けて継承するため、整理を行い、リスト化するとともに、研究分析を行うことで展示やイベントでの活用、ホームページでの紹介を通し、童謡文化の普及を行った。</p> <p>(6) 各施設の利用条件</p> <p>記念館の各施設・部屋について、市が公募に当たり指定した最小限の用途・条件等に基づき、適切に利用した。</p> <table border="1" data-bbox="491 797 1422 1473"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>用途・条件等</th> <th>事業者の施設活用状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本館1階</td> <td>展示及びミニホール機能として活用。貸館としての利用も可。</td> <td>音楽イベント等を開催するミニホール、貸館、オルゴール等の展示・視聴、ピアノの開放（利用日指定有）、貸館施設（※1）、CD等の販売コーナー</td> </tr> <tr> <td>本館2階</td> <td>小黒恵子氏及び童謡文化についての展示スペース</td> <td>小黒恵子氏及び童謡普及の展示、貸ミニギャラリー</td> </tr> <tr> <td>旧居宅台所</td> <td>事務室</td> <td>事務室</td> </tr> <tr> <td>旧居宅居間</td> <td>資料展示、事業、貸館など事業者の提案による活用可</td> <td rowspan="2">来館者が自由に過ごせる場として開放し、有料で飲み物を提供（会議、控室等にも活用可）、</td> </tr> <tr> <td>旧居宅和室</td> <td>資料展示、事業、貸館など事業者の提案による活用可</td> </tr> <tr> <td>旧事務室</td> <td>事業、貸館など事業者の提案による活用可（本館と独立した管理が可能）</td> <td>貸館施設（※2）</td> </tr> <tr> <td>庭園</td> <td>事業者の提案による活用</td> <td>緑や環境問題を考える事業を実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 定員約80名（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、令和2年度は定員を20名に制限）</p> <p>※2 定員30名（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、令和2年度は定員を10～15名に制限）</p> <p>以上のことから、コンセプトである「童謡文化体験の場」と「地域の憩い、交流の場」及び運営条件に沿った事業が実施されており、事業目的を達成していると評価できる。</p>	施設名	用途・条件等	事業者の施設活用状況	本館1階	展示及びミニホール機能として活用。貸館としての利用も可。	音楽イベント等を開催するミニホール、貸館、オルゴール等の展示・視聴、ピアノの開放（利用日指定有）、貸館施設（※1）、CD等の販売コーナー	本館2階	小黒恵子氏及び童謡文化についての展示スペース	小黒恵子氏及び童謡普及の展示、貸ミニギャラリー	旧居宅台所	事務室	事務室	旧居宅居間	資料展示、事業、貸館など事業者の提案による活用可	来館者が自由に過ごせる場として開放し、有料で飲み物を提供（会議、控室等にも活用可）、	旧居宅和室	資料展示、事業、貸館など事業者の提案による活用可	旧事務室	事業、貸館など事業者の提案による活用可（本館と独立した管理が可能）	貸館施設（※2）	庭園	事業者の提案による活用	緑や環境問題を考える事業を実施
施設名	用途・条件等	事業者の施設活用状況																							
本館1階	展示及びミニホール機能として活用。貸館としての利用も可。	音楽イベント等を開催するミニホール、貸館、オルゴール等の展示・視聴、ピアノの開放（利用日指定有）、貸館施設（※1）、CD等の販売コーナー																							
本館2階	小黒恵子氏及び童謡文化についての展示スペース	小黒恵子氏及び童謡普及の展示、貸ミニギャラリー																							
旧居宅台所	事務室	事務室																							
旧居宅居間	資料展示、事業、貸館など事業者の提案による活用可	来館者が自由に過ごせる場として開放し、有料で飲み物を提供（会議、控室等にも活用可）、																							
旧居宅和室	資料展示、事業、貸館など事業者の提案による活用可																								
旧事務室	事業、貸館など事業者の提案による活用可（本館と独立した管理が可能）	貸館施設（※2）																							
庭園	事業者の提案による活用	緑や環境問題を考える事業を実施																							
3	特に安全・安心の面で問題はなかったか。	<p>消防法に則り、消防器具点検の実施、また来館者を含めたスタッフ全員による消防訓練を実施することで、災害が発生したときの行動要領を確認している。</p> <p>また、施設設備の不具合等の発生や、庭園内樹木の倒木等の緊急時には、所管課へ迅速に連絡することで、適切な対応につなげた。</p> <p>令和2年度以降においては、新型コロナウイルス感染症防止対策として、換気や消毒、アクリル板の設置、貸館における定員制限及び一部夜間の貸出中止等の対応を徹底して行うなど、安全・安心への意識を持って運営を行っており、適正であると評価できる。</p>																							

評価項目	事業実施状況等																																																																		
4 さらなるサービス向上のために、こういった課題や改善策があるか。	<p>「童謡文化体験の場」、「地域の憩い、交流の場」としてイベント開催や地域住民等との連携など様々な取組の結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年度を除き利用者は毎年増加しているものの、貸館以外の利用者数は全体の約3割、うちイベント参加者数が約7割程度にとどまっており、展示を目的とした来館者が相対的に少ないことが課題となっている。</p> <p>利用者の年齢層は、大人が8割と多く、子ども・幼児が合わせて2割と少ない。展示資料が限定されていることに加え、記念館の中心的な展示となるべき小黒氏の童謡を館内で聴くためには、著作権使用料の関係からiPadでのイヤホン視聴に限られ、子ども向けの展示となっているとは言えない状況である。そのため、展示を中心とした童謡文化普及の機会を作ることが難しいことから、子どもが童謡文化を体験できる施設として、イベント等の取組をより一層強化するとともに、こうしたイベント等の取組を広く周知するなど、更なる創意工夫による事業展開を図る必要がある。</p> <p>●利用者実績</p> <p>(ア) 貸館、来場の内訳</p> <table border="1" data-bbox="491 846 1422 1339"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸館利用者数</td> <td>2,553人</td> <td>5,264人</td> <td>5,546人</td> <td>2,637人</td> <td>16,000人</td> </tr> <tr> <td>来館者数（貸館除く）</td> <td>2,012人</td> <td>2,946人</td> <td>3,317人</td> <td>739人</td> <td>9,014人</td> </tr> <tr> <td>うちイベント参加者</td> <td>1,022人</td> <td>2,060人</td> <td>2,587人</td> <td>337人</td> <td>6,006人</td> </tr> <tr> <td>イベント以外</td> <td>990人</td> <td>886人</td> <td>730人</td> <td>402人</td> <td>3,008人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,565人</td> <td>8,210人</td> <td>8,863人</td> <td>3,376人</td> <td>25,014人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) 利用者層内訳（カッコ内は構成比）</p> <table border="1" data-bbox="491 1435 1422 1765"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大人</td> <td>1,622人 (81%)</td> <td>2,404人 (82%)</td> <td>2,666人 (80%)</td> <td>628人 (85%)</td> <td>7,320人 (81%)</td> </tr> <tr> <td>子ども</td> <td>251人 (12%)</td> <td>246人 (8%)</td> <td>300人 (9%)</td> <td>65人 (9%)</td> <td>862人 (10%)</td> </tr> <tr> <td>幼児</td> <td>139人 (7%)</td> <td>296人 (10%)</td> <td>351人 (11%)</td> <td>46人 (6%)</td> <td>832人 (9%)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,012人</td> <td>2,946人</td> <td>3,317人</td> <td>739人</td> <td>9,014人</td> </tr> </tbody> </table>		H29	H30	R1	R2	合計	貸館利用者数	2,553人	5,264人	5,546人	2,637人	16,000人	来館者数（貸館除く）	2,012人	2,946人	3,317人	739人	9,014人	うちイベント参加者	1,022人	2,060人	2,587人	337人	6,006人	イベント以外	990人	886人	730人	402人	3,008人	合計	4,565人	8,210人	8,863人	3,376人	25,014人		H29	H30	R1	R2	合計	大人	1,622人 (81%)	2,404人 (82%)	2,666人 (80%)	628人 (85%)	7,320人 (81%)	子ども	251人 (12%)	246人 (8%)	300人 (9%)	65人 (9%)	862人 (10%)	幼児	139人 (7%)	296人 (10%)	351人 (11%)	46人 (6%)	832人 (9%)	合計	2,012人	2,946人	3,317人	739人	9,014人
	H29	H30	R1	R2	合計																																																														
貸館利用者数	2,553人	5,264人	5,546人	2,637人	16,000人																																																														
来館者数（貸館除く）	2,012人	2,946人	3,317人	739人	9,014人																																																														
うちイベント参加者	1,022人	2,060人	2,587人	337人	6,006人																																																														
イベント以外	990人	886人	730人	402人	3,008人																																																														
合計	4,565人	8,210人	8,863人	3,376人	25,014人																																																														
	H29	H30	R1	R2	合計																																																														
大人	1,622人 (81%)	2,404人 (82%)	2,666人 (80%)	628人 (85%)	7,320人 (81%)																																																														
子ども	251人 (12%)	246人 (8%)	300人 (9%)	65人 (9%)	862人 (10%)																																																														
幼児	139人 (7%)	296人 (10%)	351人 (11%)	46人 (6%)	832人 (9%)																																																														
合計	2,012人	2,946人	3,317人	739人	9,014人																																																														

評価項目

事業実施状況等

(ウ) 施設（貸館）稼働率

※H29年度5月8日～貸出開始

R2年度4、5月休館 R2年度6月及び1～3月夜間利用中止

・貸室（月～日曜日 9：00～21：00）

	H29	H30	R1	R2
月曜日	4.55%	34.04%	42.18%	44.29%
火曜日	14.41%	44.70%	53.90%	39.74%
水曜日	7.77%	25.53%	54.81%	53.93%
木曜日	8.18%	19.61%	49.28%	42.03%
金曜日	5.77%	33.63%	48.12%	30.26%
土曜日	31.30%	53.28%	57.04%	73.81%
日曜日	18.75%	54.61%	58.27%	76.71%
平均	12.96%	37.91%	51.94%	51.54%
件数 (人数)	111件 (1,106人)	339件 (2,411人)	506件 (3,650人)	249件 (1,395人)

・貸ホール（平成29～令和元年度：土、日、月、祝・・・17：30～21：30

土、日、月、祝以外・・・9：00～21：30

令和2年度

：日、月、木、祝・・・17：30～21：30

日、月、木、祝以外・・・9：30～21：30）

	H29	H30	R1	R2
月曜日	2.33%	2.13%	0.00%	0.00%
火曜日	16.67%	14.50%	28.67%	1.96%
水曜日	7.21%	25.00%	13.67%	30.28%
木曜日	15.13%	32.67%	17.48%	0.00%
金曜日	12.96%	27.88%	14.86%	19.63%
土曜日	9.76%	28.26%	26.53%	26.47%
日曜日	2.44%	14.89%	2.04%	0.00%
平均	9.50%	20.76%	17.21%	11.19%
件数 (人数)	66件 (1,447人)	125件 (2,853人)	121件 (1,896人)	88件 (1,242人)

3. これまでの事業に対する検証

	検証項目	検証結果																																																																																																			
1	所管課による適切なマネジメントは行われたか。	所管課と事業者において定期的に定例会を開催し、各事業の進捗状況・結果、施設管理の状況について報告・確認、運営に関する課題の共有と解決に向けた調整を行った。																																																																																																			
2	制度活用による効果はあったか。	<p>1 サービス面</p> <p>事業者の発案による効果的かつ柔軟な施設運営・事業展開が行われた。事業者としては、施設の管理業務、童謡普及啓発業務があるが、常に利用者の意見反映に努め、様々なイベントの実施、区役所や地域住民、地域活動団体等との連携事業、館内の安全・衛生管理を行った。</p> <p>そうした開館以降の着実な取組により、利用者は年々増加し、小黒恵子氏による個人経営時の年間利用者数 150 人程度に対し、令和元年度には約 8,500 人となった。</p> <p>2 収支面</p> <p>設備環境の整備や人件費の増加により、平成 29 年、令和元年、令和 2 年度の収支は赤字となったものの、収入については、有料入場者からの入館料収入（大人 200 円、子ども 100 円、年間パスポート：大人 1,000 円、子ども 500 円）、貸館利用料収入を得ており、特に貸館利用者数の増による貸館利用料収入の増加が目立ち、記念館の認知度が低かった初年度を除き安定した収入が得られた。</p> <p>4 年間の総収支は約 88 万円の赤字（年平均約 22 万円の赤字）</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" data-bbox="438 1086 1412 1400"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29 予算</th> <th>H29 決算</th> <th>H30 予算</th> <th>H30 決算</th> <th>R1 予算</th> <th>R1 決算</th> <th>R2 予算</th> <th>R2 決算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 総収入</td> <td>10,214</td> <td>9,841</td> <td>8,112</td> <td>8,930</td> <td>8,359</td> <td>9,064</td> <td>7,908</td> <td>8,102</td> </tr> <tr> <td>収入</td> <td>1,317</td> <td>944</td> <td>938</td> <td>1,756</td> <td>1,457</td> <td>2,162</td> <td>893</td> <td>1,087</td> </tr> <tr> <td>施設管理収入</td> <td>1,190</td> <td>944</td> <td>938</td> <td>1,756</td> <td>1,457</td> <td>2,162</td> <td>893</td> <td>1,087</td> </tr> <tr> <td>入場料収入</td> <td>355</td> <td>317</td> <td>313</td> <td>317</td> <td>316</td> <td>399</td> <td>232</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>貸館利用料収入</td> <td>828</td> <td>594</td> <td>624</td> <td>1,439</td> <td>1,140</td> <td>1,643</td> <td>660</td> <td>999</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td>7</td> <td>33</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>120</td> <td>1</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>童謡普及収入(※1)</td> <td>127</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>市補助金(※2)</td> <td>8,897</td> <td>8,897</td> <td>7,174</td> <td>7,174</td> <td>6,902</td> <td>6,902</td> <td>7,015</td> <td>7,015</td> </tr> <tr> <td>B 支出</td> <td>10,214</td> <td>10,503</td> <td>8,112</td> <td>8,215</td> <td>8,359</td> <td>9,336</td> <td>7,908</td> <td>8,759</td> </tr> <tr> <td>A-B 収支</td> <td>0</td> <td>-662</td> <td>0</td> <td>715</td> <td>0</td> <td>-272</td> <td>0</td> <td>-657</td> </tr> </tbody> </table> <p>決算額:3月末時点</p> <p>※1 参加料を特別に設定する事業は実施せず入館料のみで参加できる事業に切替</p> <p>※2 各年度の収支計画の収支差額を補助。</p> <p>経営のインセンティブが働くよう、計画を上回る収入を得た場合の収益は、事業者に帰属。</p> <p>ただし、収入が計画を下回った場合の損失も事業者に帰属。</p> <p>以上のことから、普通財産貸付制度による管理・運営する効果は十分認められる。</p>		H29 予算	H29 決算	H30 予算	H30 決算	R1 予算	R1 決算	R2 予算	R2 決算	A 総収入	10,214	9,841	8,112	8,930	8,359	9,064	7,908	8,102	収入	1,317	944	938	1,756	1,457	2,162	893	1,087	施設管理収入	1,190	944	938	1,756	1,457	2,162	893	1,087	入場料収入	355	317	313	317	316	399	232	70	貸館利用料収入	828	594	624	1,439	1,140	1,643	660	999	雑収入	7	33	1	0	1	120	1	18	童謡普及収入(※1)	127	0	0	0	0	0	0	0	市補助金(※2)	8,897	8,897	7,174	7,174	6,902	6,902	7,015	7,015	B 支出	10,214	10,503	8,112	8,215	8,359	9,336	7,908	8,759	A-B 収支	0	-662	0	715	0	-272	0	-657
	H29 予算	H29 決算	H30 予算	H30 決算	R1 予算	R1 決算	R2 予算	R2 決算																																																																																													
A 総収入	10,214	9,841	8,112	8,930	8,359	9,064	7,908	8,102																																																																																													
収入	1,317	944	938	1,756	1,457	2,162	893	1,087																																																																																													
施設管理収入	1,190	944	938	1,756	1,457	2,162	893	1,087																																																																																													
入場料収入	355	317	313	317	316	399	232	70																																																																																													
貸館利用料収入	828	594	624	1,439	1,140	1,643	660	999																																																																																													
雑収入	7	33	1	0	1	120	1	18																																																																																													
童謡普及収入(※1)	127	0	0	0	0	0	0	0																																																																																													
市補助金(※2)	8,897	8,897	7,174	7,174	6,902	6,902	7,015	7,015																																																																																													
B 支出	10,214	10,503	8,112	8,215	8,359	9,336	7,908	8,759																																																																																													
A-B 収支	0	-662	0	715	0	-272	0	-657																																																																																													
3	当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか	<p>募集要項で記念館の管理運営において想定される経費として小破修繕、樹木剪定費をあげているが、施設及び施設設備の不具合への対応、庭木樹木の管理の大部分は市が執行している状況である。これは市と事業者の分担に明確な基準を設けていないことが要因と考えられる。</p> <p>庭木樹木の管理については、剪定、強剪定、伐採の通常の管理の範囲を超える業務は市、落ち葉清掃や一部枝葉の剪定は事業者、という分担となっているが、事業者の剪定作業は、月に 1 回程度地域ボランティアを活用して行う程度である。そのため、高木の手入れができず、隣地や道路に樹木が越境することが頻発しており、樹木の状態に合わせた適切な管理が必要である。また、台風や強風による倒木の発生時は、市が別途業者委託により対</p>																																																																																																			

		<p>応しているが、倒木など緊急を要する案件への対応に課題がある（特に緊急を要する対応は道路公園センターに対応依頼したケースもあり）。</p> <p>このように、施設、設備や樹木の管理については、迅速かつ効率的に対応するため、今後は、市と事業者との分担や費用負担の考え方を改めて整理した上で、事業者が執行する業務範囲を拡大する方向で見直しを行う必要がある。</p>
4	普通財産貸付以外の運営を活用する余地はないか	<p>記念館は、公の施設のように行政目的を持って市が新規に整備したものではなく、遺贈者の意思を尊重しながら遺贈財産を財源として運営するものであり、公の施設など行政財産としての位置づけになじまず、普通財産として整理した上で、その運営手法については、公の施設が前提となる指定管理者制度の導入は見送りつつも、事業者の創意工夫を生かした柔軟な運営ができるよう、普通財産貸付の事業スキームを採用してきた。</p> <p>事業スキームとしては、管理委託のように行政が仕様により運営内容を縛る手法も考えられるが、これまでの運営の効果を踏まえると、事業者の柔軟な発想による運営及び、地域の意見を反映させやすい運営方法で施設運営を行うことが望ましいことから、普通財産貸付による運営が適当である。</p>

4. 今後の事業運営方針について

記念館は、小黒恵子氏の遺言を受け受贈し、平成29年度から「童謡文化体験の場」と「地域の憩い、交流の場」とすることをコンセプトとして地域に根差した運営を行っており、今後もより一層その役割を果たすことが求められる。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年度を除き、順調に利用者数が増加しており、普通財産貸付による運営により事業者の柔軟な発想や地域との連携等を行うことで、小黒恵子氏が個人で記念館を運営していた頃の年間利用者数約150人に対し、令和元年度には約8,500人に大幅に増加した。この間の運営状況を踏まえると、運営効果は当初の事業目的を果たしており、今後も効果的な施設運営が期待できることから、次期貸付期間以降も引き続き遺贈財産を財源とした普通財産貸付による施設の管理運営を行うことが望ましい。なお、遺贈財産である現金及び不動産の売却、駐車場の貸付や著作権収入等により、残額は約236百万円（令和3年3月31日現在）であり、引き続き記念館の運営原資とする。

今後も、「童謡文化体験の場」と「地域の憩い、交流の場」として、子どもから大人までもが童謡文化を体験でき、地域の交流を促進する役割を担うとともに、地域に根付いた文化交流の場を目指していく。